

新潟大学整形外科科学講座は日本で4番目に開講した伝統教室。その第6代教授、遠藤直人氏から県民の健康増進と快適な生活を送るための、県内の整形外科分野の情報をシリーズでうかがいます。第19回は、新潟大学医学部総合病院の勝見 敬一氏をご紹介いただき、国が認定する難病「頸椎後縦靭帯骨化症」についてお話をうかがいます。

vol.19

# シリーズ PROFESSOR プロフェッサー

新潟大学整形外科 教授が語る

## 国が認定する難病 頸椎後縦靭帯骨化症を知るために

病指定され、現在まで原因の特定や治療法の研究を行っています。

**日本人の約3%が罹患**

頸椎後縦靭帯骨化は日本人の約3%に認められ、日本人は頸椎に後縦靭帯骨化が起こりやすいといえます。しかし、これはあくまでも骨化を認めた方(後縦靭帯骨化)であり、骨化による脊髄障害を認める方(後縦靭帯骨化症)は、2006年の調査では2万3千人程とされています。男女比は2:1と男性に多く、50歳代で症状が出現することが多いとされます。

### 原因は不明

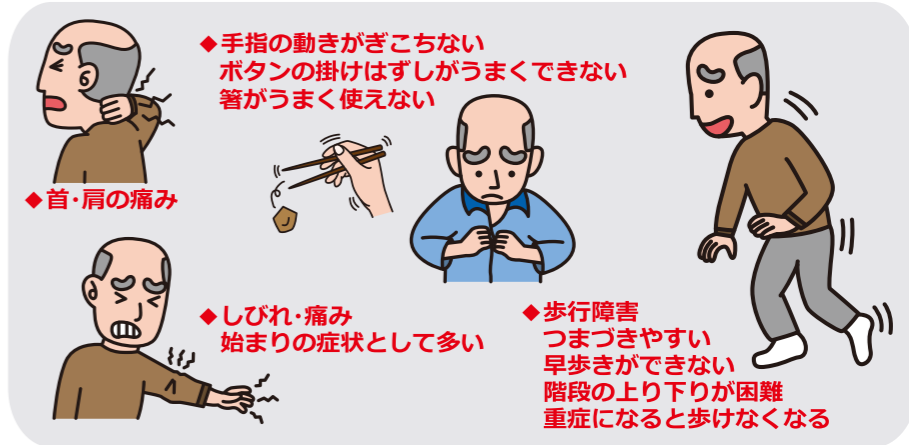
一つの原因で生じる病気ではなく、複数の要因が関与していると考えられています。



新潟大学大学院歯学総合研究科  
整形外科分野  
教授 遠藤直人氏

『手がしびれたり動かしにくいと感ずることがあります。これは関節の病気やリウマチ、あるいは頸髄(脊髄)の病気によることがあります。今回は、中でも頸(首)の病気に焦点をあてて解説をしていただきました。』

皆さんは、次のような症状(図1)はありませんか？



【図1】このような症状はありませんか？

これらの症状は、くび(頸椎)の障害によって生じた可能性があります。

### 頸椎・頸髄のくび

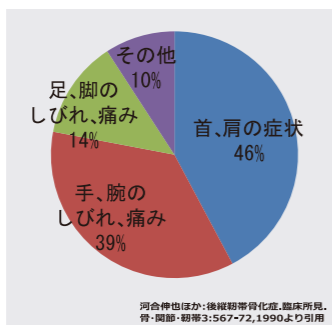
頸椎は7個の骨(椎体)が、椎間板と靭帯でつながりできています。椎体を縦につながる靭帯に、前縦靭帯と後縦靭帯があります。脊椎の内部にはドーナツのように穴

す。家族内発生が30%と高く、遺伝子の関与が有力視されています。また、ある調査では、後縦靭帯骨化症の患者さんの中で糖尿病を20~30%に認め、糖尿病と骨化のメカニズムが関連している可能性が指摘されています。

### この病気の最初の症状

80%は首・肩の痛み、手・腕のしびれや痛みから始まります(図4)。進行すると手指の運動障害や、歩行障害が生じます。

※注意 これらの症状は他の病気からも生じます。首・肩痛は頸椎の変形でも生じます。

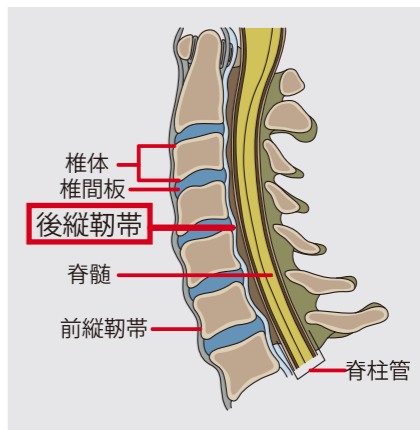


【図4】この病気の最初の症状

### 必ずしも「靭帯骨化=手術」ではありません

靭帯骨化は年々増大することがわかってきますが、無症状の方が急激に悪化することは稀で、症状の進行が見られない方も多です。しかし、頸椎後縦靭帯骨化症の約20%が、転倒などを契機に症状が出現・悪化していることから、頸椎後縦靭帯

(脊柱管)があり、神経が入っています。神経は脳から伸び脊髄と呼ばれ(頸椎にある脊髄は頸髄)(図2)、頸髄からは左右共に8本の神経根が枝分かれして、手や肩へ伸びています。



【図2】正常な頸椎

しびれや脱力といった症状は、これら脊髄や神経根が障害されることで生じます。また、頸髄には下肢に行く神経や、排尿や排便などの神経も含まれており、頸髄を障害すると手の障害のみでなく、下肢や排泄の障害も生じます。

今回は頸椎の病気である頸椎後縦靭帯骨化症を紹介します。

### 頸椎後縦靭帯骨化症とは

後縦靭帯が骨化(骨になること)する病気です。骨化が張り出し、脊髄を圧迫すると(図3)、様々な症状を生じます。

骨化症と診断されている方は、飲酒中・スポーツ中など、転倒・転落に注意してください。また、首を長時間反らしすぎないことも重要です。

### 自宅でできる簡易テスト

手の障害を調べるテストに手でグー・パーを繰り返す検査があります。10秒間にパーを20回以上が正常です。あくまでも目安であり不安があれば整形外科受診を推奨します。

### 診断の基本はエックス線

エックス線で診断ができます(図5)。

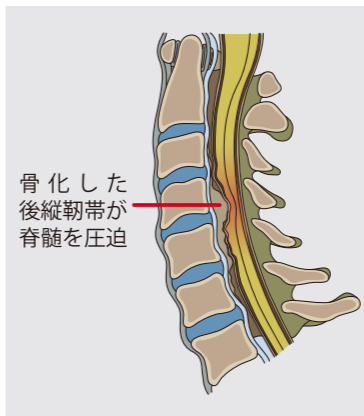


【図5】エックス線撮影(矢印が頸椎後縦靭帯骨化部分)

骨化の範囲や大きさ等を調べるときにはCT(コンピュータ断層検査)が有用です(図6)。



【図6】CT撮影(後縦靭帯骨化(矢印)を認める)



【図3】頸椎後縦靭帯骨化症



【プロフィール】  
平成14年山形大学卒業、新潟大学整形外科入局。県立新発田病院、鶴岡市立荘内病院、長岡赤十字病院、平成20年より新潟中央病院 脊椎・脊髄外科センターに勤務し、平成24年より現職。専門は脊椎脊髄外科。  
【所属学会・資格等】  
整形外科学会 専門医  
脊椎脊髄病学会 指導医

かつみ けいいち  
勝見 敬一氏 新潟大学医学部総合病院 整形外科

### 日本で初めて見つかった病気

頸椎後縦靭帯骨化症は、1960年に日本で初めて報告されました。東洋人、中でも日本人の発生率が高く、一時は日本の風土病ではないかと「the Japanese disease」ともいわれました。1975年に難

脊髄の圧迫を評価するにはMRI(磁気共鳴撮像検査)が有用です(図7)。



【図7】MRI撮影(後縦靭帯骨化(矢印)により、脊髄が圧迫されている。)

### 治療について

頸椎の安静目的に、頸椎装具や、薬物療法が行われます。効果が不十分で、手足の障害が強い場合には手術療法が行われます。手術療法は以下に大別され、患者さんの年齢、骨化の範囲・大きさなどに応じて使い分けられます。

- ①後方除圧術(椎弓形成術:後方から脊柱管を広げる手術)
- ②後方除圧固定術(椎弓形成術に固定を加えたもの)
- ③前方除圧固定術(前方から骨化巣を切除しないし浮上させ、固定したもの)

### 最後に

頸椎後縦靭帯骨化症は、遺伝的な関与があることがわかってきています。家族の中に後縦靭帯骨化症と診断された人がいるならば、一度は整形外科にて、エックス線を撮影してもらうことをお勧めします。